

2018年2月16日

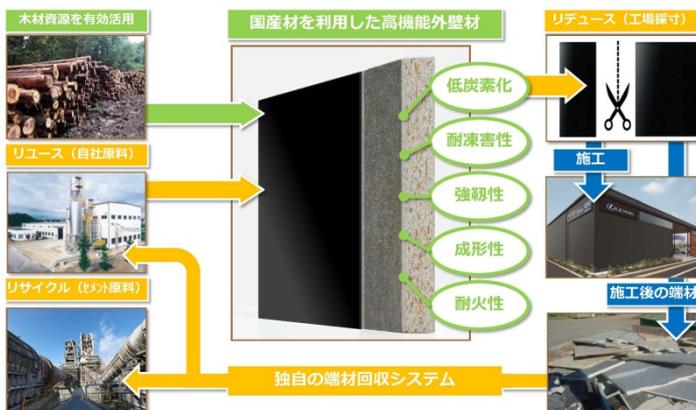
『国産材を利用した外壁材による低炭素化活動と そのリサイクルシステムについて』が、 「2018 愛知環境賞 銅賞」を受賞。

ニチハ株式会社(本社:名古屋市、社長:山中龍夫)は、「2018愛知環境賞」(主催:愛知県)において、銅賞を受賞いたしました。
 国産材を原料とした窯業系外壁材を他社に先駆けて製造販売し、温室効果ガスの削減に取り組むとともに、製造及び建築施工過程で発生する端材について、独自のリサイクルシステムを構築したことは、環境負荷の低減と資源循環型社会の形成に大きく貢献するものと高く評価されました。

住宅業界・建築業界では、低炭素化に加え建築現場で発生する産業廃棄物の適正処理に関しても、大きな環境問題として認識されています。ニチハは、主力製品である窯業系サイディングの主原料に国産材を利用し、木が生長過程で吸収したCO₂を固定化する効果によって環境負荷低減に貢献するとともに、CO₂固定量の「見える化」を行い、一般ユーザーへの啓蒙活動を展開してきました。加えて、施工現場で発生する端材を独自の物流ネットワークで効率的に回収し、自社での再利用のみならず、全国の提携セメント工場でCO₂が発生しないセメント原料として使用するリサイクルシステムを構築いたしました。

ニチハのサイディング材を標準的な一般住宅に使用した場合、製品原料となった国産材の吸収・固定能力により、一軒あたり1.5t分のCO₂削減効果が生じます。(間伐された森林における吸収源拡大量 0.5t、木材自体が内部に固定した量 1.0t)更にニチハでは、建物の施主を対象に「Jクレジット」を提供することで、2020年までの家一軒が生活時に排出するCO₂(約12t)を実際に削減(相殺)する権利も同時に付与しています。

弊社は今後も、これらの取り組みを通じて、環境負荷の低減と資源循環型社会の形成に貢献する、持続可能な社会に資する事業モデルを展開してまいります。



左:愛知県 大村知事、中:弊社代表取締役社長 山中龍夫、
 右:環境パートナーシップ CLUB 水野会長(中部電力会長)
 (2018年2月15日表彰式にて)

「愛知環境賞」

資源の循環や環境負荷の低減を目的とした企業、団体等による先駆的で効果的な<技術・事業><活動・教育>の事例を募集し、優れた取組に対して表彰をするとともに、広く紹介することによって、新しい生産スタイルや生活スタイルを文化として社会に根付かせ、資源循環型社会の形成を促進することをねらいとしている。今回で14回目の開催となる。